

## 令和2年度 長浜市健康づくり推進協議会 要点録

日 時：令和2年8月31日（火）13：30～15：00

場 所：ながはまウェルセンター2階会議室

### 【出席者】

一般社団法人 湖北医師会	森上	直樹	会長	
一般社団法人 湖北歯科医師会	西川	雅士	副会長	
市立長浜病院	徳田	敏子	地域医療連携室室長	※
長浜市立湖北病院	田中	正樹	事務局長	※
長浜赤十字病院	楠井	隆	院長	※
一般社団法人 薬剤師会	久留島	文治		※
長浜保健所	嶋村	清志	所長	※
長浜市連合自治会	四塚	善弘	役員	
長浜市小中学校教育研究会 養護教諭部会	平野	真由美	養護教諭	
長浜市民生委員児童委員協議会	杉本	幸久	理事	
長浜市社会福祉協議会	鈴木	茂善	介護事業課長	※
特定非営利活動法人健康づくり0次クラブ	大橋	香代子	副理事長	
長浜市健康推進員協議会	小林	純子	会長	

※新型コロナウイルス感染症予防のため、Web 会議形式で参加

### 【欠席者】

無し

### 【事務局】

健康福祉部	： 福永部長
健康企画課	： 明石課長、服部係長、森副参事、大谷主査
健康推進課	： 織田課長、前田課長代理、五坪主幹、水口主査
地域医療課	： 川越主査
高齢福祉介護課	： 大塚課長代理、森岡係長
保険医療課	： 為永課長、久保田主事

### 【傍聴者】

無し

## 【会議録次第】

- 1 開会挨拶
- 2 委員自己紹介
- 3 健康づくり推進協議会について
- 4 会長・副会長 互選
- 5 議事
- 6 閉会

## 【要点録】

### 1. 開会（挨拶：健康福祉部長）

### 2. 委員自己紹介

### 3. 健康づくり推進協議会について

- ・長浜市健康づくり推進協議会規則第2条について説明
- ・出席者数の確認（委員13名出席）  
規則第6条第2項により、過半数の出席があるため会議として成立

### 4. 会長・副会長の互選

- ・選定方法について事務局一任となる
- ・会長・副会長決定  
会 長：森上委員（湖北医師会会長）  
副会長：鈴木委員（長浜市社会福祉協議会）
- ・議事公開の決定  
新型コロナウイルス感染症予防をふまえた傍聴要領改正案の承認（本会議より反映）

資料1

### 5. 議事

事務局より説明

#### （1）健康ながはま21第4期計画の進捗について 資料2 資料3

事務局より、現在の長浜市の健康寿命、人口動態、病態別死亡率、介護認定原因疾患、国保加入者の医療費等について説明しました。

健康ながはま21計画の進捗については、令和元年度の取組み実績等を簡潔にとりまとめたうえ、委員へ提示しました。

以降の議事においては、今年度の取組みを中心に、各分野ごとにトピックスを事業所管課より説明しました。

#### ①今年度の健康づくり事業について（健康企画課） 資料4

新型コロナウイルス感染症対策のため、出前講座等従来の啓発方法にかわり、ながはまテレビや市公式 YouTube（はまーる tb）にて、感染予防に配慮したウォーキング方法やマスク熱中症予防、コロナストレス対策などの啓発を行ったことを説明しました。

また、昨年より引き続き市ホームページにて市民の健康づくりに関する情報を掲示し、コロナ禍における屋内運動、親子運動動画等の紹介、スマホアプリやスマホ対応型 IOT 機器（健康管理機器）を活用した健康づくり支援を継続する旨を説明しました。

#### ②高齢者への介護予防の取組みについて（高齢福祉介護課） 資料5

高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、一人ひとりが介護予防に取り組めるように身近な場で足腰が鍛えられる転倒予防教室の立ち上げ、活動継続支援を行っていることや、長浜市転倒予防体操「ながはまきんせ体操」をリニューアルし、お口の健康や認知症予防もふくめ、ながはまテレビでの放映の他、転倒予防自主 G やサロン等での DVD 配布について説明しました。

また、新型コロナウイルス感染症による外出自粛等により、生活不活発による介護リスク増大が心配されるため、感染症予防や体力低下予防について啓発を行っている旨を説明しました。

#### ③健康寿命の延伸を目指す高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施について 資料6

健康寿命の延伸を図るためには高齢者の病気の重症化を防ぐとともに、生活機能を維持し自分のことは自分でできる期間を出来る限り長くする対策が必要となります。

現在、庁内の関係課において高齢者の健康課題を共有しながら今後の取組みについて協議し、社会参加をメインとした介護予防と後期高齢者医療で行っている疾病の重症化予防・発症予防を、医師会等関係機関の協力を仰ぎながら実施していく旨を説明しました。

#### 質疑応答等

委員： 私が把握している健康寿命と長浜市が公開している健康寿命には乖離がみられますが、これは定義（算出方法）などが違うのでしょうか。

事務局： 長浜市では要介護度（客観的データ）を活用した健康寿命を活用しており、計算にあたっては自立から要介護 1 までを健康、要介護 2 以上を不健康と定義しております。

委員： 食事関連のことですが、子ども達を対象にした食育の部分と高齢者への栄養対策では取組みを変えていく必要があると思います。

野菜摂取の推奨については若い世代には大切ですが、高齢者の方はどうしてもタンパク質不足になりがちですので、そちらの方に重点を置いた方がよいと思います。

また、タンパク質摂取に関しては、ソーセージなど加工度の高い商品が好ま

れるようになってきていますが、国際的な研究では、同じ肉でも加工度の高い製品は健康への悪影響が大きいとされているため、調理の手間もあると思いますがなるべく、加工されていない肉を使って調理していただくと良いと思います。

高齢者の介護予防対策において社会性の維持などを図るのであれば、65歳になってから急に始めても、ついていけない方が多いと思われま

す。60代前半でも介護予防サポーター等と銘打って巻き込んでいった方が良いと思います。60歳位で退職され、地域活動に参加されている方が多いと思いますので、対象年齢に含みをもたせて対応していただきたいです。

委員：平均寿命や健康寿命の延伸には医療の質の向上や治療薬の普及などの影響もあると思いますが、健康寿命延伸と服薬との関連を示すようなデータはありますか。

委員：循環器医療においては、治療も薬も大変進歩し、治療成績もよくなりました。不整脈の治療においても、今まであきらめていたものが、治療できるようになり予後の成績も良いため、健康寿命の延伸には服薬治療も一つは貢献していると思います。

事務局：市において健康寿命と服薬の関連を示したデータは持ちあわせておりません。

委員：令和元年度の国保医療費が今までの経年結果から見ると高くなっているのはなぜですか。

事務局：国保加入者が減少するなかで医療費が向上するのは、医療依存が高い重篤な方がいた場合や、薬を多量に服薬された人が多かった場合などが考えられるがどこが原因だったかは現在調べているところです。

#### ④心の健康専門部会の活動経緯、今後の活動方針について（健康推進課） 資料7

心の健康専門部会の令和元年度から今日までの活動実績及び今後の取組み方針について下記の内容で説明しました。

##### 【説明内容】

長浜市では働き盛り世代の男性の自殺者が多いこと、20代を中心に自殺未遂者が多いような現状を部会内で共有し、「声かけ、見守り、気づき、つなぎ」ができる人（ゲートキーパー）の育成が特に重要であるという認識のもと、誰に、どのような方法で働きかけ、受講してもらおうか協議を行いました。

今後、働き盛り世代及び若者層に重点的に働きかけるようにしていきます。

今年度は新型コロナウイルスによる影響もあり、教育関係者や保護者に対し直接的に啓発することは難しい状況です。また、経済状況の悪化から自殺者の増加も心配されます。これらの事情から悩んでいる人の身近にいる相談者にゲートキーパーについて知ってもらうこと、悩んでいる方が相談先を知ってもらえるよう心の健康専門部会でチラシを作成し委員の所属団体において配布するほか、警察の巡回訪問時等でも活用してもらう予定です。チラシの内容については今後検討します。

## 質疑応答等

委員： ころの健康については、環境整備が必要な面がありますが、中小企業においてメンタルヘルス対策に差がある場合は、企業風土や上司の意識・理解が重要になってくると思います。

また、現場において上司としてまっとうな指示をしているものの、部下の受け止め方によってはパワハラと受け止められることがあります、これは学校においてもあり得ることで、これらの課題を是正するためには社長や学校長にメンタルヘルス対策やパワハラ等に対して正しく理解・意識してもらう必要があります。その点の対策についてはどうでしょうか。

事務局： 部会内でも同様の意見が出ております。企業においてはラインケアや実際の対応についての研修を実施される他、学校においては養護教諭部会にて実際の対応について研修を行い、各学校にて現場の先生方に向けて研修をしていくようなことも今後検討される予定です。

委員： ゲートキーパーの養成については、学校関係であれば養護教諭など対象が分かりやすいですが、中小企業の場合はどのような方に受講していただく計画でしょうか。また、目標の人数ですが「1事業所当たり何人」といった実施者側の基準などはありますか。

事務局： 中小企業においては、今までアプローチが難しい状況でしたが、今年度商工会議所を通じまして、ゲートキーパー養成講座を受けていただけるよう周知啓発を行っているところです。

事業所において、管理職の方というように具体的に受講対象を定めてはおらず広く多くの方に受講していただきたいと考えています。また、目標数値につきましては、健康ながはま 21 に全体を通しての受講者数をあげております。

委員： 現状ではなかなか受講を希望するという形で手を挙げられるところは少ないと思います。今ほどの件についても検討をお願いいたします。

### ⑤保健師地区活動について（健康推進課） 資料8

地区担当保健師より、地域のキーパーソン等と協働して健康づくりを推進していることについて、浅井地区の事例（地域づくり協議会や健康推進員、消防団との協働した運動・栄養・体調管理支援事業等）を基に説明を行いました。

### ⑥休日急患診療所の状況について（地域医療課） 資料9

医療機関の適正受診・休日急患診療所の受診状況について説明を行いました。

また、休日急患診療所を受診する際の、新型コロナウイルス感染予防対策についても説明しました。

⑦国民健康保険加入者への取組みについて（保険医療課） **資料10**

保険医療課において、国保加入者に対する健康づくり対策を、健康ながはま 21 及び国保データヘルス計画に基づき関係課と連携して取り組んでいることを説明しました。

また、データヘルス計画の概要版を用いて健康課題や取組み項目・目標についても説明しました。（健診等受診率向上、喫煙・運動分野の対策、重症化予防、医療費適正化など）

**質疑応答等**

委員： 長浜市の喫煙率は高い状況だと認識しています。最近では電子タバコの利用者なども増えてきておりますが、市の方ではどのように対応されていますか。

事務局： 近年電子タバコや加熱式タバコが普及し、喫煙者の中には健康への害が少ないといった認識を持っておられる方が存在しています。

加熱式タバコにつきましては、従来の紙巻タバコと同様にタバコ葉を使用しており、ニコチン依存症などの健康への影響が懸念されることから、乳幼児健診時や特定保健指導、健康推進員養成講座などで加熱式タバコに対する情報提供などを行っているところです

委員： 長浜市として様々な疾病要因に対する取組みをされていますが、外国人に対する対応も必要ではないでしょうか。

外国人の方の状況を見ますと、日本人に比べ食生活の乱れが目立ち、肥満度も高い状況です。また、言葉の壁や経済的な悩みなどからくるストレスからうつになられる方もおられます。

外国人の方が一定数定住されている環境において、実際に診療等で関わりますと病気の知識や予防以前に、保険や制度のことをご存じないため生活などに支障を来たされいる方もおられるためご検討をお願いします。

事務局： 現状ではスペイン語やポルトガル語対応の間診表整備や通訳を交えた育児・健康相談、窓口での翻訳機整備等を行っているところですが、委員よりいただいた外国人の状況につきましては、各課において今後の事業対応の参考とさせていただきます。

委員： 休日急患診療所の診療により総合病院の負担軽減になっているところですが、発熱者と非発熱者でのゾーニング等が難しいことも考えられます。新型コロナウイルス感染者のうち感染経路不明者が増加してきた場合、受診体制等の在り方についていつでも相談いただければと思います。

委員： 今ほど提案いただいた件につきましては、長浜米原休日急患診療所運営委員会の場で協議させていただきます。

委員： 新型コロナウイルス対策としてうがい薬がメディアで取り上げられましたが、うがい薬の有無や成分に関わらず、感染予防のためにまずうがいを必ずすることを各現場で啓発いただきたいと思います。今後、冬場になりますとインフルエンザ等も流行することが予想されます。マスクやアルコール消毒だけに頼るのではなく、しっかりうがいをしていただきたいと思います。

6. 閉会（挨拶：健康企画課長）